

開催概要

日時 2024年2月15日（木）14時00分～17時10分

場所 エコパルなごや

趣旨 第4次名古屋環境基本計画の進捗管理の一環で、市民・事業者の意識を把握し施策に反映させるためにワークショップを実施。部活動やサークル等で活動する学生に「環境課題の解決にむけた行動変容を進めるために、私たちは何ができるのか」について考えてもらい、実際に行動するきっかけを作る。

内容 1 開会
2 自己紹介
3 話題提供
4 グループワーク①（課題整理）・発表
5 グループワーク②（企画提案）・発表
6 まとめ・閉会



参加者 学生13名（9大学）
コーディネーター 愛知教育大学 大鹿聖公 教授
ファシリテーター 3名（合同会社OFFICE HARU）

参加者と当日の様子

学校

愛知学院大学	1人
愛知教育大学	2人
島根大学	1人
椋山女学園大学	1人
大同大学	1人
名古屋工業大学	1人
名古屋市立大学	2人
名古屋商科大学	1人
名城大学	3人

学年

1年生	4人
2年生	2人
3年生	7人



ワークショップに参加した理由（複数選択可）

テーマに関心があったから	9人
環境に関心があったから	8人
ワークショップに関心があったから	6人
他大学の学生と交流がしたかったから	3人
学校（教職員）から勧められたから	2人
就活に活かそうだったから	1人
その他	1人



ワークショップ結果

【グループA】
脱炭素社会の実現に向けて
～名古屋が目指すべき姿～

企画テーマ
若者に楽しさを絡めたきっかけを！

【内容】

- 数字で示すよりもイメージで伝えた方がいい。体験ブースやクイズで分かりやすく伝える。
- イメージプロモーションビデオを作る。
- VRや体験できる施設で五感をフル活用して知ってもらおう。
- 体験時は企業の省エネ製品の紹介など企業にもメリットがあるようにすることでブランド力向上につなげる。
- 若者が関わるきっかけは、賞金が出る、エモさ、SNS映え、記念になる思い出づくりなど、道具を活用する。



ワークの様子

【グループB】
私たちの生活に直結している生物多様性の
危機～今、私たちができる行動を考える～

企画テーマ
生物多様性を守るためのアプローチ

【内容】

- アクション1「感情のままに…」
 - ・季節の移ろいなど、自然に対する感動の気持ちから写真を撮り、共有する。
 - ・Instagramなどのプラットフォームに投稿する。
 - ・詳しい人からフィードバックのコメントをもらって感動する。
 - この繰り返しで保全につながる。
- アクション2「人間の欲が世界を救う」
 - ・人間の欲（楽しさ・ゲームなど）を動機づけとして、環境に良い行動へつなげる。
 - ・環境を再生する過程を動画にしてエンターテインメントとして提供する。



ワークの様子

【グループC】
プラスチックフリー
～今からできるプラスチック対策～

企画テーマ
若い、私たちはどうしたら動くのか？

【内容】

- 若者が興味ある話題と環境を掛け合わせて、聞いてみたいと思ってもらおう
 - ・化粧品×環境（例：新しい素材、コスメケースがプラスチックでないもの）
 - ・古着×環境、映え×環境、スイーツ×環境 など
- 講座を受講するのはハードルが高い。気軽に学べる手段が必要
 - ・TikTokなどのSNSのショート動画で発信する。
 - ・リアルな機会ならユースフェス（YouTuberのリユース品が出たら欲しい）



ワークの様子

アンケート結果（回答数：13件）

ワークショップに参加する前、環境に関する行動をしていましたか？

日常生活でできる範囲で行動をしていた	9人
所属している団体や個人で積極的に行動をしていた	3人
ほとんど行動していなかった	1人

上記の理由を教えてください。

（所属している団体や個人で積極的に行動をしていた）

- マイバックを普段から持ち歩く、空のコンタクトケースをリサイクルボックスに入れる、身内の服や時計などを再使用していました。
- 節電、節水、学生団体での活動など

（日常生活でできる範囲で行動をしていた）

- 日常レベルまで落とし込めており、生活の一部になっているため。
- 子どもたちにとって馴染みやすいカードゲームとかを使って、楽しく行動を開発しているから。

（ほとんど行動はしていなかった）

- できることがわからなかったため

ワークショップに参加して環境に関する行動をしようと思いましたか？（複数選択可）

もっと環境に優しい行動（個人でできる範囲）をしようと思った	12人
今行っている環境に関する行動や活動を引き続き継続していきたいと思った	9人
今回考えた企画やアイデアの実現に向けて動きたいと思った	5人
仲間を募って活動しようと思った/所属団体を盛り上げていきたいと思った	4人
あまり変わらない、環境に関する行動をしようと思わない	0人

上記の理由を教えてください。

- 自分自身の行動の改善や継続が1番始めやすいと思ったため。
- 自分自身ができることは限られているからこそ、その当たり前にできる一歩を大切にしたいと思った。
- 個人でできることをすることの影響力が大きいことを改めて実感したため。
- 心が動いたから。